平成30年度　丹波中学校　学校関係者評価表

学校教育目標	「心身ともに健康で　学びつづける人，思いやる人，やり通す人」		
めざす生徒像	心豊かで自立できる生徒	・意欲的に取り組み，課題を解決できる生徒 ・思いやりがあり，友達を大切にする	・根気よく，粘り強く最後までやり抜く生徒 ・規範意識を身につけた生徒

アンケートを4段階で評価
（生徒・保護者にはアンケート文末を自分や我が子の様子を問う形にして実施）

1・・・そう思う（4点）　2・・・ややそう思う（3点）　3・・・あまりそう思わない（2点）　4・・・そう思わない（1点）
（総得点/4点×10人）×100　(%)

		職員	生徒	保護者	教職員・生徒・保護者からのおもなコメント	学校の考え	学校評議員会でのご意見より
学校経営	①学校は，生徒が学校生活を楽しめるような経営を行っている。	88%	81%	72%	職　〇教職員一人ひとりが生徒に寄り添う指導を心がけ，対応してきた。 生　〇大変なところもあるが，充実した学校生活が送れている。 〇いろいろな行事があり，他の学校ではできないことがたくさんあった。 〇丹課などで学んだことをいかすことができたと思う。 保　〇本人の話す言葉から，充実した生活を送れていると思います。	≪考察≫　授業，行事，学級諸活動，部活動を通して，生徒たちは，一人一人に応じた活動をし，一生懸命取り組んできた。生徒たちの意欲と努力，保護者・地域からの支えなどが融合した結果であると思う。 ≪今後≫　今までの関係性をふまえながら生徒理解に努め，すべての生徒に居場所があるよう，①一人一人に応じたわかる授業や学習指導，②見通しが持てる「学級経営，行事など」への取り組み，その対応，③さらなる保護者との情報交換に努めていきたい。今後も，成果と課題を確認し，全教職員で，生徒が力を付けられる教育活動を進めていきたい。	全体を通してのご意見・ご質問になります。 〇先生方が、一生懸命になって学習指導（放課後学習会）に取り組んだり、さまざまな生徒がいる中、同じことをさせようと指導したりしていることを耳にしている。今後も同じようにお願いしたい。 ▲学校評議員に女性をとりいれたらどうだろうか。候補者を考え、打診をしてみる。 →よろしくお願いいたします。 ▲虐待の実態はどうだろうか。 →本校には、その実態を把握していない。生徒には、まとまった時間はとれないが、短学活などで、虐待について伝えられる。また。実際に何かあった場合には、行政の組織として、学校、担当課、児相など関係者が「要対協」という組織で対応する。
	評価	A	A	B			
	②学校は，たよりやホームページなどを通して情報提供を丁寧に行っている。	88%	67%	81%	職　〇HPの更新を行って，学校の様子を丁寧に発信している。 〇修学旅行，校外学習ではリアルタイムで更新し，様子が伝えられた。 ▲もっと外部に学校の様子を伝えられたら，と感じている。 ▲学校だよりを定期的に出せるよう，改善していきたい。 生　〇おたよりも，HPもよく見ている。 ▲おたよりを次から見たいと思います。 ▲おたよりはよく読むが，HPを読むことは少ない。 ▲おたよりは自分しか見なかった。	≪考察≫　たよりやHPを通して，生徒の顔が間近で見られた教育活動を，タイムリーにお伝えし，幅広く知っていただけていると思う。 ≪今後≫　①今まで通り，HPを更新し，学校の様子を知っていただく機会とする。②たよりについては，さらに改善をし，インパクトとのある写真や適度な文字数で構成したり，双方向性のあるコメント欄を設けるなどしていく。③配布する際，生徒と読みあったりして，さらに内容を伝えていきたい。	
	評価	A	B	A			
	③学校は，地域の自然や人材など，教育活動に生かしている。	95%	85%	87%	職　〇地域の自然や人材を活用した活動が多くあり，地域の方にはたくさんの協力をしていただき感謝している。 生　〇通常では，体験できないことが体験できていると思う。 ▲地域人材などをちょっとだけ活用している	≪考察≫　歴史のある「栽培活動」など地域と密接に関係している学校行事があり，今年度も老人クラブの協力を得る中で，取り組むことができた。また，授業の中でも「琴や尺八，剣道」を授業で取り入れたり，「地域の方から学ぶ道徳」の講師に地元の方を招いたりして，生徒の学びとなる機会となった。 ≪今後≫　来年度も，今年度の取り組みを継続していく。そして，生徒と地域との方との関係性を深める視点（積極性や話をする機会など）を取り入れ，さらに実のあるものとしていきたい。	
	評価	A	A	A			

平成30年度　丹波中学校　学校関係者評価表

教科指導	④ICTを活用し，個に応じた分かる授業に努めている。	83%	94%	85%	職　〇大型テレビを配置していただき，数学のファンクションビューや国語・理科のNHKソフトなどを活用し，効果的に生徒に提示し，授業を進めることができている。 〇iPadを利用し，不明な点がすぐに検索できるなど，生徒の理解を促している。 ▲（教科特有の事情もあり）教科指導の中で，活用できていないところもある。 生　〇丹課などを通して，iPadを上手く活用できている。 〇ICTが充実しているので，教科書よりもわかりやすく，印象に残るので，理解しやすい。	≪考察≫　今年度は全教室に大型テレビを配置していただき，NHKソフトやデジタルソフトなどを通して，生徒たちの視覚へ訴える授業をすることができた。また，iPadの活用を通して，社会科や学習発表会の課題追求に役立てることができた。生徒もiPadの活用やプレゼンソフトの使用には精通している。 ≪今後≫　来年度も，引き続き，iPadの活用やプレゼンソフトの使用に取り組ませていきたい。	▲山村留学の感想はどうか。→どの学校でも、大変な実態はある。預かった子どもである以上、学校はすべてに丁寧に対応していかなければならない。「自分の子どもだったら・・・」と親の気持ちになり、対応している。 ▲学校と行政の情報交換の場を設け、丹波山村の子どもたちを一緒になって，見ていく機会となれば、さらにいいと思う。 ▲その他　前回の評議員会の際、卒業式などの祝辞があるため、PTA会長の引き受け手がない旨のご意見をいただいた。村とも相談する中で、決めていただければ、それにそう中で次第を考えたい
	評価	A	A	A			
	⑤生徒が相手の話を聞き，自分なりの考えを発表できるよう指導している。	88%	79%	69%	職　〇特に，学習発表会の取り組みを通して，課題の設定や追求，さらにプレゼンの力を鍛え，自分の言葉で発表する力をつけている。 〇授業の中で，課題に対して，意見交換をする場を設けている。 ▲相手の話を自分の発言に結びつけられるように，今後も指導してきたい。 生　〇自分の意見をより発表できることが多くなったので，発表する力が身に付いていると思う。 〇自分なりの考えは発表できるが，▲自分のことでいっぱいになり，他人の話が聞けないことがある。 ▲相手の話を聞いて納得することはあるが，自分の考えがまとまらずに，授業で発表ができない。	≪考察≫　授業や学習発表会の中で，①課題を設定し，その解決に向けて，生徒同士が話をする機会を設けたり，②調べた内容をプレゼンすることにも取り組んだりして，社会で必要とされる力を身に付けさせている。 ≪今後≫　①学校のすべての活動の中で，生徒が話す機会を意図的にしくんでいく。（特に，行事など実体験を伴ったことは表現しやすいので，大切にする。）②間を大事にして，生徒の発言する機会や生徒が聞く機会を設ける。③生徒一人ひとりに応じた表現方法を研究し，理解していく。	
	評価	A	B	B			
	⑥生徒の家庭での学習が定着するような手だてを講じている。	80%	69%	62%	職　▲家庭学習については，本校の課題であると感じる。宿題としてはやってくるが，そこから踏み込んだ形での学習をするまでには至って いないと思う。 生　〇自学や復習ノート，ワークなどで，以前より定着していると思う。 〇1，2年生の頃よりは，勉強をしている。でも，もっとできると思う。 ▲家庭学習は，「どのくらいの時間できているか」という面で，定着できていない ▲あまり家庭学習ができていないので，がんばりたいです。 保　▲家で，勉強をしている様子があまりないです。 ▲なかなか定着していないと思う。勉強の時間もバラバラで，集中はできていないと思う。	≪考察≫　アンケート項目の中で，昨年度に引き続き，低い評価である。◆教師としては，生徒たちが宿題などをしてきたり，まなBookの取組表や生活記録から，家庭学習をしているとの感覚があるのではないかと思われる。◆ただ，生徒・保護者からすると，宿題以外の学習をしていない，試験前しか学習していない，毎日学習せず，学習時間も短くて，スマホ使用などが目につく，思うほど試験結果がかんばしくない，などのことから低評価になっているのではないか。 ≪今後≫　①授業や学びタイムを大切にさせ，基礎基本の習得に努める。②まなBookをさらに有効活用し，学習内容の把握にまで努めていく。③優先順位を考え，見通しを持って，生活できるよう，学校生活全体を通じて指導していく。④個人差もあると思われるので，生徒の様子を把握し，指導・支援につなげていきたいと考える。 ※2月には，県教委の指導主事から家庭学習の定着に向けて，生徒・保護者で話を聞き，家庭との連携に努めていく。	
	評価	A	B	B			

平成30年度　丹波中学校　学校関係者評価表

生徒指導	⑦生徒がしっかり挨拶をできるように指導をしている。	85%	88%	83%	職　〇生徒たちが，よくあいさつをしていると感じる。 〇生徒たちのあいさつから，生徒の様子を察することができる。 ▲あいさつは自分自身がするように心がけているが，まだ不十分な面があると感じている。 生　〇登校・下校で，出会った人にあいさつをすることができていると思う。 〇あいさつは基本なので，あいさつしないことがないようにしている。 ▲地域の人にあまりあいさつをしないので。（評価が低い理由）	≪考察≫　日頃の生活の中で，生徒たちはあいさつをしていると感じるが，その意識や声量の面で課題を感じることもある。◆生徒たちは，後期の生徒総会で「レベルアップしたあいさつとは」というテーマで，さらによくするための話し合いを持った。 ≪今後≫　後期生徒総会で話し合われた「レベルアップしたあいさつ」が実践できるよう，生徒ともども生活をしていきたい。	
	評価	A	A	A			
	⑧生徒や保護者の相談に丁寧に応じている。	85%	92%	83%	職　〇生徒や保護者との教育相談から，日頃の指導を振り返り，指導をあらためるよう努めてきた。 ▲生徒・保護者に対して自分なりに対応してきたつもりであるが，まだまだ不十分であると感じている。 生　〇悩みをしっかり聞いてくれ，とても良かった。 〇思ったことについて，解決するまで答えてくれる。 〇進路や受験に関わる相談を先生によくしている。	≪考察≫　保護者との教育相談でさまざまな思いをうかがうことができ，生徒理解や指導方法を改善していく機会となったが，理解や支援については，まだまだ不十分である。 ≪今後≫　①生徒・保護者の願いを誠実に受け止め，今後の指導や支援につなげていきたい。また，今年度同様研修会に参加し，力量を高めていきたい。②生徒への声かけ，SCとの連携を通して，安心して生活できる環境を整えていく。③生徒理解のために，全教職員で共通理解を図り，すべての生徒に寄り添う支援や指導をしていく。	
	評価	A	A	A			
	⑨人としての生き方を考えさせ，豊かな心を育てるように指導している。	88%	90%	77%	職　〇毎日の学校生活を通して，思いやりのある生徒になるよう，指導，支援している。 生　〇自然を大切にし，思いやりを持って，生活していた。 ▲自然を大切にし，思いやりを持って・・・そこまで大切にしようという意識はありませんでした。	≪考察≫　道徳を中心に，学級の諸活動や行事，部活動を通して，人としてどうあるべきか生徒たちとともに考えてきた。 ≪今後≫　今後も，すべての学校教育の中で，人がつくられることを再認識し，思いやり，役割と責任・義務，社会性などが育まれるよう，毎日を大切にし，教育活動にあたっていきたい。	
	評価	A	A	B			
その他	⑩小中合同運動会や清流祭などで取り組んだことを，しっかり発表できるような指導をしている。	90%	90%	83%	職　〇生徒も職員も真面目に一生懸命に取り組み，生徒たちのがんばる様子を見ることができた。 ▲反省をしっかりと次につなげていけるような指導を心がけたい。 生　〇みんなで協力して，全力で発表できた。 〇自分たちの取り組みや仕事に責任を持って活動できている。 〇とても充実した行事になった。 〇中学生になり，小学生を引っ張っていこうと，がんばれた。	≪考察≫　保護者・地域に支えられながら，生徒・教職員一丸となって小中運動会・清流祭に取り組み，すばらしい発表を創りあげることができた。見てくださった保護者・地域の方からもたくさんの肯定的なコメントをいただくことができた。 ≪今後≫　今年度の取り組みの成果と課題を確認し，来年度も「生徒の成長」につながる取り組みを進め，さらによりよいものを生徒・教職員一丸となって創りあげていきたい。▲ただ，教職員のオーバーワークの部分があったので，この点は改善していきたい。	
	評価	A	A	A			
	⑪ボランティア活動(種まき・苗植え・花配り等)や，体験活動（全校登山・宿泊学習・職場体験等)が充実するような指導をしている。	95%	83%	87%	職　〇体験活動を通して，地域の老人クラブやPTA・丹波山倶楽部など と関わり，生徒の学びにつながっている。 〇小中の連携や地域人材の活用など，積極的にできている。 生　〇栽培など，地域の方と話ながら，活動をすることができた。	≪考察≫　栽培活動などは年間行事に位置づけられ，保護者・地域の支えがあっての，特色ある学校行事の取り組みを行うことができた。また，公費全額負担の修学旅行・宿泊学習も，生徒にとって意味のある学習の場となっており，また写真の表情からも満足感が窺える。特に，職場体験については，清流祭でその成果を発表し，地域にも感謝の気持ちが伝えられた。 ≪今後≫　来年度も，保護者・地域に支えられながら，今年度同様の取り組みを計画する。特に，老人クラブとの交流においては，生徒総会で「積極性」が課題となったので，改善していく。また，全校登山については，笠取山を予定しており，笠取小屋を使用できるよう，関係者には協力を依頼したい。	
	評価	A	A	A			

平成30年度　丹波中学校　学校関係者評価表

	⑫学校は，関係機関と連携して，交通指導や防災教育を行っている。	83%	79%	85%	職　〇救急救命講習会では，消防士の方々を講師に招き，全員がAEDを使った講習を受け，中身の濃い学習の機会となった。 〇交通安全教室や防犯教室では，生徒が，安全や防犯について考える機会となった。 ▲避難訓練などについては，実施も含め課題が残った。 生　〇交通安全に心がけている。 ▲もっと安全や防災について，考えていきたい。	≪考察≫救急救命講習会，交通安全教室・防犯教室では，消防署や派出所の協力を得る中で，実施することができた。AED使用は，一生通用するものであること，丹波特有の地域性もあるが自分の身を守ることを学ぶ機会となった。また，登下校の際の道路の危険箇所を大澤さんと確認し，全校生徒へ伝えることができた ≪今後≫来年度も，引き続き救急救命講習会などを計画していきたい。交通安全指導に努めたい。できれば，ハザードマップや避難所開設などについて学習する場を設けたい。避難訓練については，確実に実施する。	
	評価	A	B	A			